



市立旭川病院 医療連携NEWS

No.20 2020.6.1

市立旭川病院は開院90周年です

当院は、令和2年4月15日で開院90年を迎えました。そこで今年は開院90周年を記念して様々なイベント・講演会を開催する予定です。

【特別食の提供について】

4月15日は、感謝の気持ちを込めて入院患者様に特別食のお膳、その名も「開院90周年記念」を提供させていただきました。また、毎月1回の特別食を6月からは月2回にして、少しでも患者様にご満足いただけるよう努めてまいります。

【パネル展について】

6月1日から19日までは、外来棟1階のアトリウムにおきまして開院90周年記念パネル展を開催します。当院の取組を紹介するものですが、新型コロナウイルス感染症への対応に関するパネルも用意しています。

全世界に甚大な影響を及ぼしている今回の感染症に、日本の地方都市の一病院でも使命感をもって対応している状況を知っていただければと考えています。パネル展は内容を変えて年度内に数回開催する予定です。

【地域医療連携のつどい～開催見送り】

例年5月下旬に地域医療連携のつどいを開催してきました。今年も開院90周年記念行事として医療機関の皆様にご案内を差し上げたかったのですが、開催を見送らざるを得ませんでした。

他の医療機関様におかれましても、講演会・研修会をはじめ院内職員の親睦行事なども行えず、経験のない日々をお過ごしかと存じます。落ち着きを見せてきたコロナですが、繰り返す波との長期戦という話もあります。早く終息してスッキリしたいところです。

【まだある90周年記念事業】

昨年秋に初めて市立旭川病院まつりを開催しました。今年は早々に9月13日（日）の開催を決めましたが延期を予定しています。そのほか多くの方が集まる研修会や市民公開講座などは、状況を見ながら感染対策をしっかりとすることを前提にして開催を検討してまいります。

地域の医療機関様や住民の皆様の期待にお応えできるように、職員全員で開院90周年を充実した1年にしたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

産婦人科より 妊婦の受入れ・分娩再開について

当院産婦人科は昨春より分娩を休止しておりましたが、令和2年4月より伊野善彦医師が着任し、妊婦様の受入れを再開いたしました。分娩の再開は令和2年10月とし、分娩予定日が11月1日以降の妊婦様を対象といたします。社会的問題や合併症の管理を必要とする症例がございましたら、ぜひご紹介下さい。

今後、産婦人科医師は8月に1名、10月に1名が加わり常勤医師3名体制となります。令和2年8月から婦人科手術も本格的に再開いたします。分娩だけではなく、婦人科疾患全般に対応してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



IBDセンターについて

4月からIBDセンターを設立して、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)及び関連疾患に対する最新の診療・チーム医療・地域連携に取り組んでいます。

近年患者数が増加して珍しい病気ではなくなってきましたので、地域の内科・外科等の医療機関様で診られる機会も増えていると思われれます。詳細な検査や治療など患者様をご紹介いただく場合には、まずは「消化器内科」で対応いたします。よろしくお願い申し上げます。

以下は、当院ホームページからの引用です。ホームページにはスタッフや治療内容についてより詳しく掲載しております。「市立旭川病院」で検索してご覧いただけますと幸いに存じます。

IBDセンターとは?

IBDの診療には様々な診療科が関与します。

IBD治療の基本は内科治療ですが、内科治療でも改善しない難治例や、大量下血、腸管穿孔、癌の合併がみられる例では外科治療が必要となります。また、前述のように若年者で発症しますので、小児で発症される方、これから妊娠を考えている方も多くおられ、小児科や産科婦人科との連携も必要になってきます。さらに、皮膚炎や関節炎といった腸管外合併症も少なくなく、皮膚科や膠原病内科をはじめ、感染症科、精神科などの先生とのチーム医療が不可欠です。

内科治療も多岐に渡るようになり、他科との連携の下に治療を行うケースが増えました。例えば、白血球除去療法を行う場合は透析センター、生物学的製剤の点滴加療を行う場合にはがん化学療法センターと連携して診療を行っています。

また、先に述べたようにIBDは完治させることが困難であり、発症した場合は長く付き合っていく必要がある疾患です。そのため、日常生活や学業就労支援面においては看護部、栄養管理科、ソーシャルワーカーなど、他診療部門との共同体制も欠かせません。

そこで、多科、多職種との連携をより強固なものとし、より良いIBD診療を提供する為に設立されたのがIBDセンターです。

チーム医療でIBD診療を行う部門
それがIBDセンターです

